

こま うご 駒の動きがかんたんに学べる! まな

# はじめて将棋



こま だい 駒台になる  
しゅう のり 収納ケース  
ひきだし式 付き



は 貼って  
は がせる  
シール  
い 入り!!



うご まな は シールを貼れば動きが学べる!



にんずう ふたり  
プレイ人数... 2人

はじめてでもすぐできる!

## 図解で学べる 説明書

しょう ぎ きほんてき 将棋の基本的な  
あそ 遊び方を紹介するのじゃ!

こま うご 駒の動きがわかるシールを貼ってルールを覚えましょう!

あいて おうしょう きよくしょう と おつ か  
相手の王将(玉将)を取るか、追い詰めたら勝ち!



※写真と実際の商品とは、デザイン及び仕様が異なる場合がありますので、予め御了承ください。

※駒の配置図を表示しております。敵陣の場合は「王将」が「玉将」に変わります。

香車		歩兵
桂馬	角行	歩兵
銀将		歩兵
金将		歩兵
玉将		歩兵
金将		歩兵
銀将		歩兵
桂馬	飛車	歩兵
香車		歩兵

## 駒の並べ方ガイド

左図のガイドを直接盤面と、照らし合わせながら駒を配置してみましょう!

### ゲームを始める前に

下図のように、盤上に駒を並べます。  
 王将と玉将は同じ駒です。  
 また、駒は全部で8種あり、赤文字の方が裏面です。

飛車は右側に、  
 角行は左側に  
 置くのじゃ!

駒の配置図

	車	車	銀	金	玉	金	銀	車	車
敵陣		飛車						角行	
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
自陣	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
		角行						飛車	
	車	桂馬	銀	金	玉	金	銀	桂馬	車

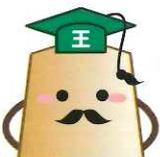
### シールについて

それぞれの駒の動き方を表すシールが入っています。  
 シールの中の矢印で動かせる方向がわかります。

シールを貼って、それぞれの駒の動き方を覚えましょう。  
 動き方を覚えたら、シールをはがして挑戦してみましょう。  
 詳しくは右図以降の説明をよんでください。

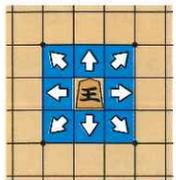
**駒の動かし方**

駒はそれぞれ、一手ごとに動ける範囲が決まっています。



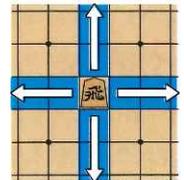
「王将」と「玉将」は同じ。「王将」は上手い人や年配者が使うのじゃ。

**王将(玉将)**



縦、横、斜めのどこか1マスに、進むことができます。

**飛車**



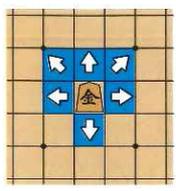
縦、横に何マスでも進むことができます。(他の駒を飛び越えることはできません)

**角行**



斜めに何マスでも進むことができます。(他の駒を飛び越えることはできません)

**金将**



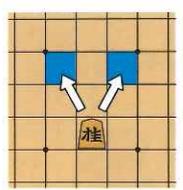
縦、横、斜め前のどこか1マスに、進むことができます。

**銀将**



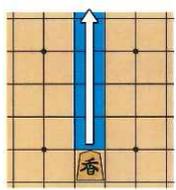
前、斜め前後のどこか1マスに、進むことができます。

**桂馬**



2マス斜め前に、進むことができます。(他の駒を飛び越えることができます)

**香車**



前に何マスでも、進むことができます。(他の駒を飛び越えることはできません)

**歩兵**

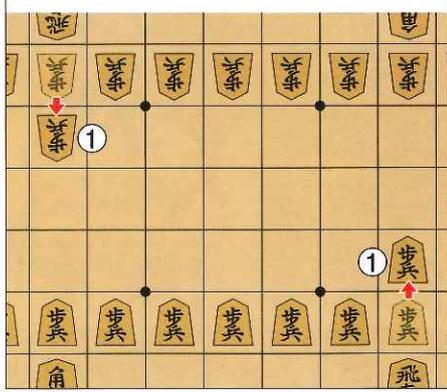


前に1マス進むことができます。

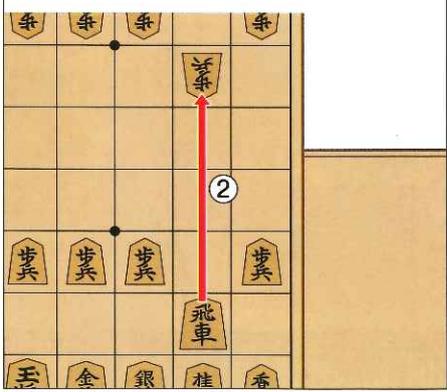
**ゲームの目的** お互いの駒を取り合いながら、相手の王将(玉将)を取るか、追い詰めたら勝ちです。(相手の王将(玉将)を追い詰めることを「詰み」といいます。)

**遊び方**

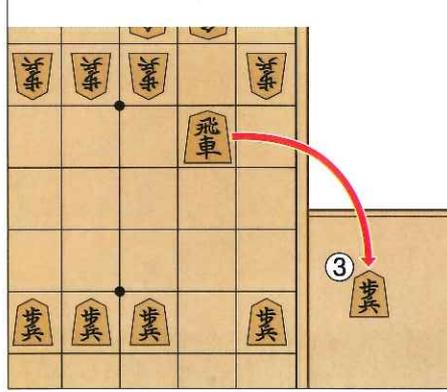
①先手、後手を決めて1駒ずつ、交互に駒を動かしていきます。



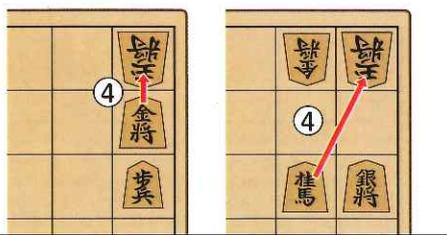
②相手の駒のいるマスに移動したときは、相手の駒を盤から取り自分の駒を置きます。



③取った駒は自分の駒として、使うことができます。自分の番のときに、好きな位置に置くことができます。



**王手とは**  
④次の一手で、相手の王将(玉将)を取れるマスに駒を動かすことを「王手」といいます。王手をされたプレイヤーは、取られないようにこれを防がなければなりません。防げない場合は「詰み」となり、王手をしたプレイヤーの勝ちとなります。



# 「成る」について

相手陣内(向こう側から3段目まで)に、自分の駒を動かしたら駒を裏返して、駒の動き方を変えることができます。これを「成る」といいます。

## 「成るための条件」

- 条件①** 相手陣内に入る
- 条件②** 相手陣内で移動する
- 条件③** 相手陣内から出る

一度成った駒は元に戻せないのでよく考えるのじゃ!



**飛車 ▶ 龍王**

縦、横に何マスでも進むことができ、斜めにも1マス進むことができます。

**角行 ▶ 龍馬**

斜めに何マスでも進むことができ、縦、横にも1マス進むことができます。

**銀将 ▶ 成銀**

縦、横、斜め前のどこか1マスに、進むことができます。(金将と同じ動きです)

**桂馬 ▶ 成桂**

縦、横、斜め前のどこか1マスに、進むことができます。(金将と同じ動きです)

**香車 ▶ 成香**

縦、横、斜め前のどこか1マスに、進むことができます。(金将と同じ動きです)

**歩兵 ▶ と金**

縦、横、斜め前のどこか1マスに、進むことができます。(金将と同じ動きです)

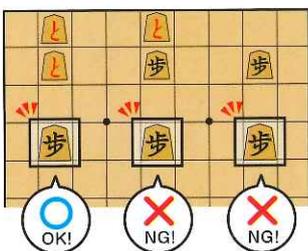
**注意** 取った駒を相手陣内に置く場合、最初から「成り」の状態(裏返し)で置くことはできません。

# 禁じ手

将棋には「禁じ手」というルールがあり、守らないと負けとなってしまいます。

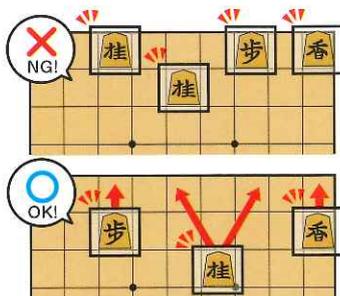
## 〈二歩〉

同じ縦のマス列に、自分の歩兵が2枚並ぶことです。すでに自分の歩兵が置いてある縦のマス列に、持ち駒の歩兵を置いてはいけません。(自分の歩兵が成っている場合は、置くことができます)



## 〈行きどころのない駒〉

これ以上動けない場所に、持ち駒を置くことはできません。

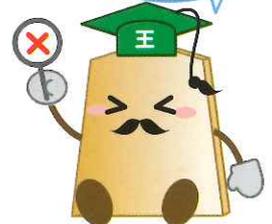


## 〈打ち歩詰め〉

持ち駒の歩兵を置くことによって、相手の王将(玉将)を詰むことはできません。歩兵を前進させて、詰みにした場合は打ち歩詰めではありません。



待った(やり直し)は禁じ手じゃないが、やっちゃダメじゃ! マナーを守るのじゃ。



\*より詳しい将棋のルールを学びたい人は市販されている専門書を読んでみよう!

**警告 (けいこく)**  
保護者の方へ必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

△注意 (ちゅうい)

●安全のため、破損、変形したときは使用をやめてください。●透明袋は梱包材ですので、開封後はすぐに捨ててください。●説明書を頭から読んだり顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。●選んだ後は、床などに放置せず、3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。●駒には鋭角な部分があり危険です。使用目的以外には絶対に避けないでください。●駒シールは、繰り返し使用することで粘着が低下する恐れがあります。●火の近く、高温・多湿の場所での使用、保管はしないでください。●水の中に入れてください。●駒にシールを貼る場合、保護者の方が行ってください。●再剥離の糊を使用していますが、長期でシールを駒に貼っておくと剥がれなくなる恐れがありますので予めご了承ください。●保護者のもとで選ばせてください。●部品不足をふせぐため、ランナーつきで製品にしております。部品をきれいに取り外し、取り外した後のクズは捨ててください。

＜使用上の注意＞  
●可動部分、取付部分を無理な方向に強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。  
●本体の可動部、隙間、穴には、指や髪、毛や衣類などを入れてください。  
はさまれてケガをする恐れがあります。

- はいっているもの**
- 駒……………合計40個 (材質/PS)
  - ゲーム盤 …… 1台 (材質/ABS)
  - 駒用シール… 2枚 (材質/紙)
  - 説明書(本書)… 1枚 (材質/紙)